

# 赤穂市 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査

就学前児童対象調査



## ● 調査ご協力をお願い ●

みなさまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
赤穂市では、より一層の子育て支援施策の充実に向けて、子ども・子育て支援法に基づき、2020年度から2024年度までを計画期間とする「第2期赤穂市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

この調査は、みなさまの子育てに関する現状や、また子育て支援サービスの利用希望などを把握するために実施するもので、市内の就学前のお子さんがある世帯の保護者の方々にご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた内容は、計画策定や今後の子育て支援を検討するうえで利用させていただくものであり、個人が特定されたり、他の目的に利用したりすることは一切ございません。

ご多用のこととは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成31年1月

赤穂市

### 【ご記入に当たってのお願い】

- 1 アンケートには、調査用紙を持ち帰ったお子さんもしくは宛名のお子さんについてご記入ください。
- 2 アンケートにはお子さんの保護者の方がご記入ください。
- 3 ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
- 4 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、( )内に具体的な内容をご記入ください。
- 5 時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例：午後6時→18時)でご記入ください。
- 6 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。
- 7 本調査の集計結果や自由記述の趣旨については、市のホームページ等を通じて公表する場合があります。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、2月6日(水)までに下記の方法でご提出ください。

○保育所、幼稚園で調査票を受け取った方⇒配布した封筒に入れ**保育所、幼稚園にご提出**ください。

○郵送で調査票を受け取った方 ⇒返信用封筒に入れ切手を貼らずに**郵送でご返送**ください。

赤穂市健康福祉部 子育て健康課  
赤穂市教育委員会 こども育成課

電話：0791-43-6808 FAX：0791-45-3396  
電話：0791-43-7065 FAX：0791-43-6895

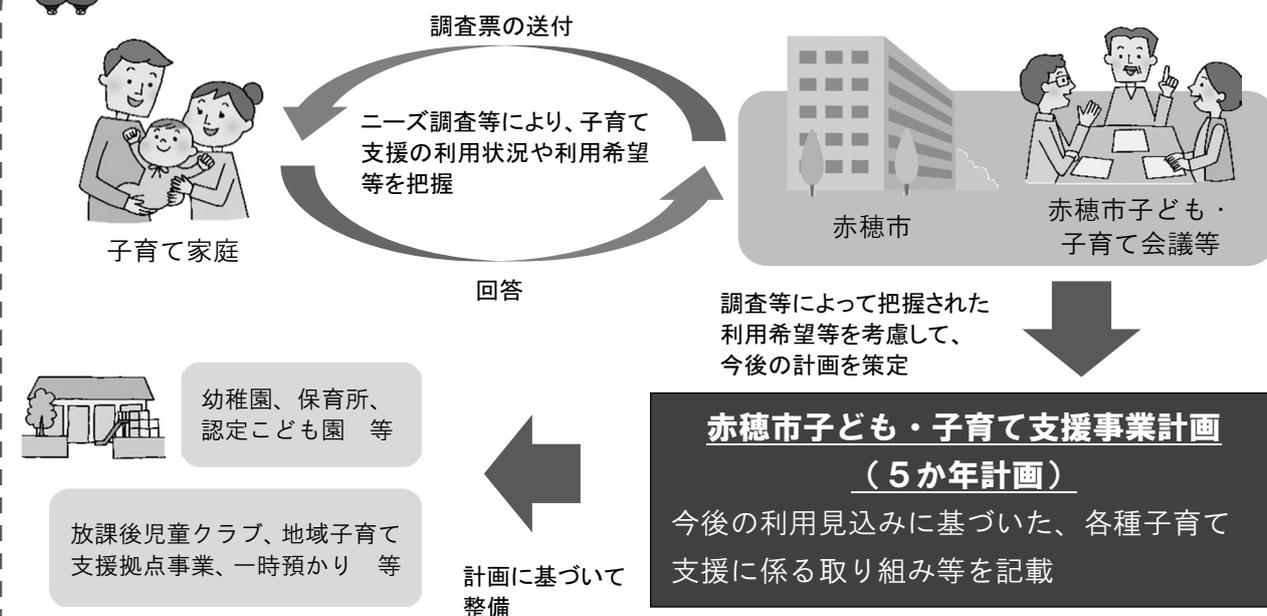
「子ども・子育て支援新制度」ってこんなこと！



- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。



いただいたご意見は、地域の子育て支援の充実に活かされます！



### 《第1期子ども・子育て支援事業計画により実施された赤穂市の主な取り組み》

- ・保健センターを赤穂すこやかセンターに移設し、母子保健事業の充実を図りました。
- ・赤穂すこやかセンター内で乳幼児一時預かり事業を開始しました。
- ・公立幼稚園で、3歳児保育（試行）を実施しました。
- ・新たに赤穂西小学校、高雄小学校、有年小学校にアフタースクールを開設しました。

#### 【用語の定義】

●○この調査票における用語の定義は以下の通りです○●

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教育：幼稚園や学校だけでなく、家庭での教育を含めた意味で使用

## お子さんとご家族の状況について

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。(1つに○)

- |      |      |      |       |      |
|------|------|------|-------|------|
| 1 赤穂 | 2 城西 | 3 塩屋 | 4 赤穂西 | 5 尾崎 |
| 6 御崎 | 7 坂越 | 8 高雄 | 9 有年  | 10 原 |

※ここから先、すべての質問の「お子さん」とは、  
調査票を持ち帰ったお子さん、もしくは宛名のお子さんのことです。

問2 調査票を受け取ったお子さんの生年月月をご記入ください。( [ ] 内に数字を記入)

平成 [ ] 年 [ ] 月生まれ

問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。( [ ] 内に数字を記入)

きょうだい数 [ ] 人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

- |      |      |           |
|------|------|-----------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 その他 ( ) |
|------|------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 配偶者がいる | 2 配偶者がいない |
|----------|-----------|

問6 お子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

- |         |           |        |
|---------|-----------|--------|
| 1 父母ともに | 2 主に母親    | 3 主に父親 |
| 4 主に祖父母 | 5 その他 ( ) |        |

問7 お子さんの子育てや教育に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまるすべてに○)

- |         |       |           |       |
|---------|-------|-----------|-------|
| 1 父母ともに | 2 母親  | 3 父親      | 4 祖父母 |
| 5 幼稚園   | 6 保育所 | 7 その他 ( ) |       |

問8 お子さんの子育てや教育に、最も大きく影響すると思われる環境はどれですか。(あてはまるすべてに○)

- |       |           |       |
|-------|-----------|-------|
| 1 家庭  | 2 地域      | 3 幼稚園 |
| 4 保育所 | 5 その他 ( ) |       |

問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるすべてに○)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる              |
| 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる     |
| 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる          |
| 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5 いずれもない                          |

**問9-1** 問9で「1」または「2」を選択した方にお伺いします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるすべてに○)

- 1 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 2 祖父母等の親族の身体的・精神的負担が大きく心配である
- 3 祖父母等の親族の時間的制約が大きく心配である
- 4 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- 6 その他 ( )

**問9-2** 問9で「3」または「4」を選択した方にお伺いします。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるすべてに○)

- 1 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 2 友人・知人の身体的・精神的負担が大きく心配である
- 3 友人・知人の時間的制約が大きく心配である
- 4 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- 6 その他 ( )

**問10** お子さんの子育てや教育をする上で、気軽に相談できる先はありますか。(1つに○)

1 ある ⇒問10-1へ

2 ない ⇒問10-2へ

**問10-1** 問10で「1 ある」を選択した方にお伺いします。お子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまるすべてに○)

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1 配偶者・パートナー          | 2 祖父母等の親族           |
| 3 隣近所の人              | 4 友人・知人             |
| 5 職場の人               | 6 保育所、幼稚園の保護者仲間     |
| 7 児童館、母親クラブ等の仲間      | 8 保育士、幼稚園の先生        |
| 9 子育て応援隊             | 10 子育て学習センター        |
| 11 ベビーシッター           | 12 かかりつけの医師         |
| 13 専門カウンセリング(臨床心理士等) | 14 市役所の子育て相談窓口      |
| 15 子ども家庭センター(児童相談所)  | 16 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 17 健康福祉事務所(保健所)      | 18 保健センター           |
| 19 電話相談              | 20 育児書・育児雑誌         |
| 21 インターネット           | 22 その他 ( )          |

**問 10-2 問 10で「2 ない」を選択した方にお伺いします。その理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)**

- 1 誰に相談したらよいかわからない
- 2 相談することが恥ずかしい
- 3 (施設や機関など) 相談の時間が合わない
- 4 仕事などで自分が忙しい
- 5 相談場所が遠い
- 6 適切な人・相談場所がない
- 7 相談したことの秘密が守られるか不安
- 8 相談先自体を知らない
- 9 引っ越してきたばかりで、あまり地域になじめていない
- 10 その他 ( )

**問 11 あなたは子育てについて不安や負担を感じていますか。(1つに○)**

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1 いつも感じる ⇒問 12 へ | 2 ときどき感じる ⇒問 12 へ |
| 3 あまり感じない        | 4 感じない            |

**問 12 問 11で「1」または「2」を選択した方にお伺いします。あなたは、子育てについてどのような不安や負担を感じることがありますか。(あてはまるすべてに○)**

- 1 子育て(教育)にかかる経済的負担が大きい
- 2 仕事と子育ての両立が難しい
- 3 子どもの健康や発達に不安を感じる
- 4 地域医療体制への不安を感じる
- 5 保育サービスや施設が利用しにくい
- 6 安全な遊び場や児童館など、子どもの居場所が身近にない
- 7 相談相手や手助けしてくれる人がいない
- 8 安全な通園ができる歩道や防犯施設等の整備が進んでいない
- 9 子どもの教育やいじめなどが心配
- 10 子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じる
- 11 身近に自然や伝統文化とふれあう機会がない
- 12 自分のための時間がもてない
- 13 その他 ( )
- 14 特にない

**問 13 周囲の人に支えてもらって子育てをしているという実感がありますか。(1つに○)**

- |         |          |          |        |
|---------|----------|----------|--------|
| 1 大いにある | 2 まあまあある | 3 ほとんどない | 4 全くない |
|---------|----------|----------|--------|

問 14 あなたは、子育てにおいて誰から支えられていると感じますか。(あてはまるすべてに○)

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1 配偶者・パートナー          | 2 祖父母等の親族           |
| 3 隣近所の人              | 4 友人・知人             |
| 5 職場の人               | 6 保育所、幼稚園の保護者仲間     |
| 7 児童館、母親クラブ等の仲間      | 8 保育士、幼稚園の先生        |
| 9 子育て応援隊             | 10 子育て学習センター        |
| 11 ベビーシッター           | 12 かかりつけの医師         |
| 13 専門カウンセリング(臨床心理士等) | 14 市役所の子育て相談窓口      |
| 15 子ども家庭センター(児童相談所)  | 16 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 17 健康福祉事務所(保健所)      | 18 保健センター           |
| 19 電話相談              | 20 育児書・育児雑誌         |
| 21 インターネット           | 22 その他( )           |

## お子さんの保護者の就労状況について

問 15 宛名のお子さんの保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、①現在の状況と、②1年以内の見込み(実現見込みがある)をお答えください。(父親・母親それぞれ該当する番号に○。ひとり親家庭の方は、該当する部分のみお答えください。)

※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※ ②1年以内の見込みについて、現在と同様の就労状況が想定される場合は、同じ番号を選択してください。

質 問		父親・母親の就労状況・就労希望 (それぞれについて1つに○)			
		1 フルタイム 【週5日・ 1日8時間程度】	2 パート・ アルバイト 【1日4時間以上】	3 パート・ アルバイト 【1日4時間未満】	4 専業主婦 (夫)又は就労 していない
①現在の 状況	(1)父親	1	2	3	4
	(2)母親	1	2	3	4
②1年以内 の見込み	(1)父親	1	2	3	4
	(2)母親	1	2	3	4

問 15-1 問 15 の①で「1」～「3」を選択した方にお伺いします。家を出る時間と帰宅時間を [ ] 内に数字でご記入ください。

※ 一定でない場合は、もっとも多い就労パターンについてご記入ください。

※ 時間帯は24時間制でご記入ください。

(1)父親	家を出る時間：[ ]時 [ ]分	帰宅時間：[ ]時 [ ]分
(2)母親	家を出る時間：[ ]時 [ ]分	帰宅時間：[ ]時 [ ]分

右ページの問 15-2 へ





◆事業選択肢

- 1 幼稚園（通常の就園時間の利用）
- 2 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
- 3 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
- 4 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せもつ施設）
- 5 小規模保育（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が6～19人のもの）
- 6 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
- 7 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する認可保育施設）
- 8 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
- 9 企業主導型保育施設（企業が主に従業員用に運営する認可外保育施設）
- 10 その他の認可外保育所（都道府県等の認可を受けていない保育施設）
- 11 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
- 12 ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
- 13 その他（ ）
- 14 利用しない

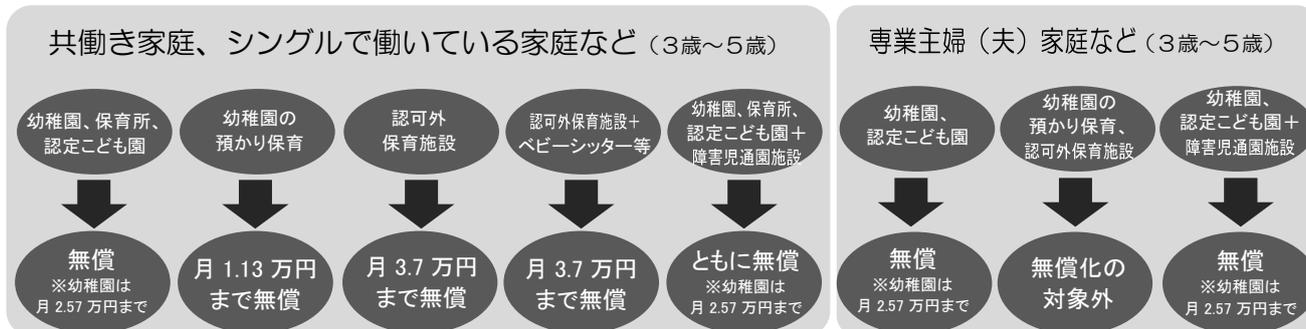
問 17-1 現在国では、**幼児教育・保育の無償化（詳細は下記参照）**の実施を検討しています。幼児教育・保育の無償化が実施された場合、お子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと思う事業は何ですか。（上の「事業選択肢」より選択し、下の「記入欄」に数字をご記入ください。）

◆記入欄

※年齢は平成30年4月2日時点を基準として、現在の年齢から5歳までの希望をご記入ください。

希望	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
幼児教育・保育無償化になった場合							

★ 幼児教育・保育無償化のイメージ（2019年10月開始予定）



※住民税非課税世帯の場合、0～2歳児についても上記の無償化が適用され、無償の上限額が4.2万円までとなる。  
 ※上記の内容は平成30年9月に公表されたものであり、今後変更の可能性がある。

問 17-2 教育・保育事業を利用したい場所についてお伺いします。（1つに○。赤穂市外を選択された方は、利用したい市町名を（ ）内にご記入ください。）

1 赤穂市内	2 赤穂市外（                      ）市・町
--------	-----------------------------------

問 17-3 赤穂市では、平成 30 年度より一部の幼稚園で3歳児保育（試行）を行っていますが、幼稚園における3歳児保育の利用を希望しますか。（1つに○）

1 はい	2 いいえ
------	-------

## 地域子育て支援事業の利用について

問 18 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（子育て学習センター）を利用していますか。（1つに○。また、おおよその利用回数（頻度）について [ ] 内に数字でご記入ください。）

1 利用している	⇒ 年間 [            ] 回程度
2 利用していない	
3 その事業の存在を知らない	

問 19 問 18 のような地域子育て支援拠点事業（子育て学習センター）について、今後の利用意向はありますか。（1つに○。また、おおよその利用回数（頻度）について [ ] 内に数字でご記入ください。）

1 利用していないが、今後利用したい	⇒ 年間 [            ] 回
2 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	⇒ 年間 [            ] 回
3 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	

問 20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。（①～⑯の事業ごとに、A～Cのそれぞれ1つに○）

	A 知っている	B 利用したことがある	C 今後利用したい
①母親クラブ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
②保健センターの育児相談	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③赤穂市子育て世代包括支援センター「えるふぁルーム」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
④プレママ・プレパパクラス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤新生児訪問	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥子育て応援隊さろん・キッズさろん	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦保育所キンダースクール	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑧児童館	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑨幼稚園未就園児保育（ひよこ組）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑩市役所の子育ての相談窓口	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑪子育てショートステイ事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑫健康カレンダー	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑬子育て学習センター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑭マタニティマーク	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑮ファミリー・サポート・センター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑯乳幼児一時預かり事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ



## 病気の際の対応について

**問 23** 定期的に幼稚園・保育所などを利用している方にお伺いします。この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の利用ができなかったことはありますか。(1つに○。また、幼稚園・保育所などを利用していない方は、問 24 へお進みください。)

1 あった⇒問 23-1 へ

2 なかった⇒問 24 へ

**問 23-1** 問 23 で「1」を選択した方にお伺いします。その際、どのように対応しましたか。(あてはまるすべてに○。それぞれの日数も [ ] 内に数字でご記入ください。半日対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対応	日数
1 父親が休んだ ⇒問 23-2 へ	[ ] 日
2 母親が休んだ ⇒問 23-2 へ	[ ] 日
3 親族(同居者を含む)・知人に子どもをみてもらった	[ ] 日
4 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	[ ] 日
5 ベビーシッターを利用した	[ ] 日
6 ファミリー・サポート・センターを利用した	[ ] 日
7 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	[ ] 日
8 その他 ( )	[ ] 日

**問 23-2** 問 23-1 で「1 父親が休んだ」「2 母親が休んだ」を選択した方にお伺いします。できれば「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われたことはありましたか。(1つに○。「1」を選択した場合は日数もご記入ください。)

1 できれば利用したかった ⇒ ( ) 日くらい

2 利用したいとは思わなかった ⇒問 23-3 へ

**問 23-3** 問 23-2 で「2」を選択した方にお伺いします。利用したいと思わなかった理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

1 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安

2 事業の質に不安がある

3 事業の利便性(利用時間・日数、場所など)がよくない

4 利用料がかかる・高い

5 利用料がわからない

6 親が仕事を休んで対応する

7 その他(具体的に: )



## 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

**問 24** 保護者の私用や通院、不定期の就労などの目的で、お子さんが不定期に利用している事業はありますか。(あてはまるすべてに○。また、該当する日数にはおおよその1年間の利用日数を[ ]内に数字でご記入ください。半日対応の場合も1日とカウントしてください。)

(1) 利用している事業	(2) 日数
1 一時預かり(私用等理由を問わずに保育所等で一時的に子どもを保育する事業)	[ ] 日
2 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合)	[ ] 日
3 ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	[ ] 日
4 ベビーシッター	[ ] 日
5 その他( )	[ ] 日
6 利用していない ⇒問 24-1 へ	/

**問 24-1** 問 24 で「6」を選択した方にお伺いします。利用していない理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 1 特に利用する必要がないから         | 2 利用したい事業が地域にないから    |
| 3 地域の事業の質に不安があるから       | 4 地域の事業の利便性がよくないから   |
| 5 利用料がかかる・利用料が高いから      | 6 利用料がわからないから        |
| 7 自分が事業の対象者になるのかわからないから | 8 どのような事業があるかわからないから |
| 9 その他( )                |                      |

**問 25** 保護者の私用や通院、不定期の就労などの目的で、お子さんが不定期に利用する事業は年間何日くらい必要だと思いますか。(「(1)利用希望の有・無」については、1つに○。「(2)利用内容」については、あてはまるすべてに○。また、利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を[ ]内に数字でご記入ください。)

※ なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 利用希望の有・無	(2) 利用内容	(3) 日数
1 利用したい ⇒ 合計 [ ] 日 ⇒問 25-1 へ	1 私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事など)、リフレッシュ目的	[ ] 日
	2 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院など	[ ] 日
	3 不定期の就労	[ ] 日
	4 その他( )	[ ] 日
2 利用する必要はない	/	

問 25-1 問 25 の (1) で「1」を選択した方にお伺いします。お子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまるすべてに○)

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 幼稚園や保育所などの大規模施設で子どもを保育する事業                 |
| 2 | 地域子育て支援拠点などの小規模施設で子どもを保育する事業               |
| 3 | ファミリー・サポート・センターなどの地域住民が子育てで家庭の近くの場所で保育する事業 |
| 4 | その他( )                                     |

問 26 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(「(1)預けた有・無」については、1つに○。「(2)1年間の対処方法」については、あてはまるすべてに○。また、対処方法別の内訳の日数を [ ] 内に数字でご記入ください。)

※ 預け先がみつからなかった場合も含まれます。

(1) 預けた有・無	(2) 1年間の対処法	(3) 日数
1 あった ⇒ 合計 [ ] 泊	1 親族(同居者を含む)・知人にみてもらった⇒問 26-1へ	[ ] 泊
	2 子育て短期支援事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設で一定期間、子どもを保育する事業)	[ ] 泊
	3 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した	[ ] 泊
	4 仕方なく子どもを同行させた	[ ] 泊
	5 仕方なく子どもだけで留守番させた	[ ] 泊
	6 その他( )	[ ] 泊
2 なかった		

問 26-1 問 26 の「(2)1年間の対処法」で「1」を選択した方にお伺いします。その場合の困難はどの程度でしたか。(1つに○)

- |         |             |            |
|---------|-------------|------------|
| 1 非常に困難 | 2 どちらかという困難 | 3 特に困難ではない |
|---------|-------------|------------|



## 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 27 お子さんについて、小学生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（1）小学校低学年、（2）小学校高学年それぞれの希望をご記入ください。アフタースクール等の事業の利用には、一定の利用料がかかります。（あてはまるすべてに○。それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。）

過ごさせたい場所	(1)小学校低学年 (1～3年生)の間	(2)小学校高学年 (4～6年生)の間
1 自宅	週 ( ) 日くらい	週 ( ) 日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週 ( ) 日くらい	週 ( ) 日くらい
3 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 ( ) 日くらい	週 ( ) 日くらい
4 児童館	週 ( ) 日くらい	週 ( ) 日くらい
5 アフタースクール ※1 *利用を希望する時間(24時間制)も記入	週 ( ) 日くらい →下校時から( )時まで	週 ( ) 日くらい →下校時から( )時まで
6 ファミリー・サポート・センター	週 ( ) 日くらい	週 ( ) 日くらい
7 その他(公民館、公園など)	週 ( ) 日くらい	週 ( ) 日くらい

⇒ 問 27-1へ

※1 「アフタースクール」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合など一定の条件を満たせば、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。市内では、赤穂小、城西小、塩屋小、赤穂西小、尾崎小、御崎小、坂越小、高雄小、有年小で実施しています。

問 27-1 問 27 で「5」を選択した方にお伺いします。お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、アフタースクールの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（それぞれ1つに○。また利用したい時間帯を（ ）内に（例）8時～18時のように24時間制でご記入ください。）

(1)土曜日	1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯 ( ) 時から ( ) 時 まで
	2 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
	3 利用する必要はない	
(2)日曜日・祝日	1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯 ( ) 時から ( ) 時 まで
	2 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
	3 利用する必要はない	

## 小学校就学後の長期休暇中の過ごし方について

問 28 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中のアフタースクールの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1つに○。また、利用したい時間帯を（ ）内に（例）8時～18時のように24時間制でご記入ください。）

1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯 ( ) 時から ( ) 時 まで
2 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3 利用する必要はない	

## 育児と就労の両立について

**問 29** お子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。  
 (それぞれ1つに○。ひとり親家庭の方は、該当する部分のみお答えください。)

(1) 父親	(2) 母親
1 働いていなかった⇒問 30 へ	1 働いていなかった⇒問 30 へ
2 取得した(取得中である)⇒問 29-1 へ	2 取得した(取得中である)⇒問 29-1 へ
3 取得していない⇒理由を選択し、問 30 へ	3 取得していない⇒理由を選択し、問 30 へ
<b>取得していない理由</b> (下から番号を選び、ご記入ください)	<b>取得していない理由</b> (下から番号を選び、ご記入ください)
→	→

- 1 育児休業を取りにくい職場の雰囲気があった
- 2 仕事が忙しかった
- 3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
- 4 仕事に戻るのが難しそうだった
- 5 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7 保育所などに預けることができた
- 8 配偶者が育児休業制度を利用した
- 9 配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 10 育児休業制度を知らなかった
- 11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 12 有期雇用(アルバイト・パートを含む)のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 13 その他(具体的に )

**問 29-1** 問 29 で「2」を選択した方にお伺いします。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。  
 (それぞれ1つに○。ひとり親家庭の方は、該当する部分のみお答えください。)

(1) 父親	(2) 母親
1 育児休業取得後、職場に復帰した⇒問 29-2~5 へ	1 育児休業取得後、職場に復帰した⇒問 29-2~5 へ
2 現在も育児休業中である⇒問 30 へ	2 現在も育児休業中である⇒問 30 へ
3 育児休業中に離職した⇒問 30 へ	3 育児休業中に離職した⇒問 30 へ

**問 29-2** 問 29-1 で「1」を選択した方にお伺いします。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所にあわせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

(1つに○) ※ 年度初めを希望して復帰したが、入所できなかった場合も「1」を選択してください。

(1) 父親	(2) 母親
1 年度初めの入所にあわせたタイミングだった	1 年度初めの入所にあわせたタイミングだった
2 それ以外だった	2 それ以外だった

問 29-3 問 29-1で「1」を選択した方にお伺いします。育児休業からは、「実際に」お子さんが何歳何ヶ月の時に職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（[ ]内に数字を記入）

(1)父親	実際の取得期間 [ ]歳 [ ]ヶ月	希望 [ ]歳 [ ]ヶ月
(2)母親	実際の取得期間 [ ]歳 [ ]ヶ月	希望 [ ]歳 [ ]ヶ月

問 29-4 問 29-1で「1」を選択した方にお伺いします。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（[ ]内に数字を記入。ひとり親家庭の方は、該当する部分のみお答えください。）

(1) 父親	(2) 母親
[ ]歳 [ ]ヶ月	[ ]歳 [ ]ヶ月

問 29-5 問 29-3で実際の復帰と希望が異なる方にお伺いします。希望の時期に職場復帰しなかった理由を教えてください。（AまたはBのいずれかを選択した上で、選択肢よりあてはまる番号をすべて回答欄にご記入ください。）

(1) 父親	(2) 母親
A・B	A・B

【選択肢】

A 希望より早く復帰した方	B 希望より遅く復帰した方
1 希望する保育所に入るため	1 希望する保育所に入れなかったため
2 配偶者や家族の希望があったため	2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3 配偶者や家族の希望があったため
4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5 その他（ ）	5 子どもをみてくれる人がいなかったため
	6 その他（ ）

問 30 子どもと一緒に過ごす時間や親の介護、自己実現のための時間が十分に取れている（仕事と生活の調和がはかられている）と思いますか。（それぞれ1つに○。ひとり親家庭の方は、該当する部分のみお答えください。）

(1) 父親	(2) 母親
1 はかられている 2 はかられていない	1 はかられている 2 はかられていない





問 34 あなたは、これからもお子さんに赤穂市で育ててほしいと思いますか。(1つに○。また、その理由もご記入ください。)

- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない      5 わからない  
⇒その理由 ( )

問 35 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。


調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
2月6日(水)までに下記の方法でご提出ください。

- 保育所、幼稚園で調査票を受け取った方⇒配布した封筒に入れ**保育所、幼稚園にご提出**ください。  
○郵送で調査票を受け取った方 ⇒返信用封筒に入れ切手を貼らずに**郵送でご返送**ください。